



森林官からの手紙



なまはげの聖地より

米代西部森林管理署 男鹿森林事務所 森林官 平川 春樹

秋田県男鹿市。ここは言わずと知れたなまはげ伝説の息づく場所。今でも大晦日の晩になると集落ごとになまはげが出没し、人々の怠け心をこらしめ、悪事や災害を祓い、豊作と豊漁を祈願しています。男鹿で有名なのはなまはげだけではなく、半島内には寒風山、八望台(写真①)、入道崎などの優れた景勝地が点在しますし入道崎にはUFO(未確認飛行物体)も視察に訪れたらしい。春夏秋冬を問わず海の幸、山の幸にも恵まれ、「食う・見る・遊ぶ」の三拍子揃った、秋田県が誇る代表的な観光地です。



①八望台から望む日本海

さて、私が勤務する男鹿森林事務所は男鹿半島北側の海端に位置しています。男鹿半島のご真ん中には約2,430haに及ぶ国有林(写真②)があります。男鹿半島の本山(写真③)を中心として、東側は主に人工林、西側は主に天然林に

大別され、1,492haの人工林の多くはスギで、保育を主体とした施業を行っています。690haの天然林は、その大部分が男鹿半島海岸植生植物群落保護林となっており貴重な海岸植生等の保護を図っています。また男鹿山アオサギ保護林、全域が男鹿国定公園に指定されているということが管内の特徴だと言えます。また半島内では、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するという自然公園の趣旨を



③田園から望む、男鹿三山のひとつ本山(標高715m)



②八望台から望む男鹿山国有林

踏まえ、秋田県、男鹿市、男鹿市民の方々と議論を重ねながら、様々な取り組みが行われています。

また管内にはお山かけルートで知られる、男鹿市門前〜真山までの登山道(写真④)があります。その昔、信仰の対象として山伏が修行した修験道であったと言われており、登山愛好家の皆様や男鹿市民の方々から人気のあるコースとなっております。この登山道整備についても秋田県、男鹿市の担当者、男鹿市民の方々と共に議論を重ねながら進めてきました。それぞれの意見を擦り合わせてきたら整備計画の方向性を検討する過程は大変ですが、これからも皆様のご意見を良く聞くことを肝に銘じて、今後も業務に励みたいと思います。

では、なまはげに監視されておるため業務へ戻ります。へば。



④なまはげが積み上げたとされる999段の石段(赤神社五社堂へ続く)